

# ロゼ

文化情報誌 ロゼ

Art information of Fuji city

Culture Magazine ROSE

秋 Vol.29  
AUTUMN  
1999 号



ロゼ

富士市文化情報誌 ロゼ 1999年10月発行（第29号）  
発行 (財)富士市文化振興財団 〒416-0931富士市蓼原1307番地の8 TEL(0545)60-2510(代)  
企画・編集・制作 (財)富士市文化振興財団事業課広報係 株式会社マグナプロセス

## ベートーヴェン交響曲シリーズ第一弾 二十世紀贊歌 市民合唱

2000年の  
幕開けへ

# 「第九の集い」

合唱指揮：福島章恭 市民による合唱団

ロゼシアターに「第九」が響く……。  
「ロゼ」春号で合唱練習に励む皆さんをリポートしましたが、オーケストラの練習もいよいよ佳境に入り、本番まで一ヶ月余りを残すのみとなりました。  
合唱の皆さんは、会場を大ホールのステージに移し全員が一つになってハーモニーに磨きをかけています。演奏を受け持つ富士フィルの皆さんはアマチュアとはいえ、呼吸のあつたベテラン揃い、堤俊作さんの指揮のもとベートーヴェン特有のダイナミックなアンサンブルが一段と白熱化してきました。  
本誌では、両グループの代表である伊藤さんと船村さんに本番に向けての熱い思いを語っていただくとともに、合唱指導の福島章恭先生に特別インタビューをお願いしました。(七ページ掲載)

コラスの魅力はなんといつてもハーモニーですね、でも男性、女性とも大勢でやるものですからオーケストラ以上に難しいと思います。しかし揃った時には十人が一人の声に聴こえます。

今回の「第九」は五回目ですが、福島先生の発声指導で始まる練習方法はこれまでなく、とても勉強になります。

いよいよこれから各パートごと本番にいよいよこれから各パートごと本番に

市民による合唱団代表  
Eiji Itoh  
伊藤栄次さん



向けて追い込みに入ります。  
公演当日までには参加者全員で最後までしっかりとステージを勤めたいと思います。ステージの上では初心者もベテランもあ



富士フィルハーモニー管弦楽団代表  
Masahiko Enamiura  
船村雅彦さん



りませんから、ここに参加している高校生から七十歳の方まで出演者全員が一つにならなくてはなりません。

目標が一緒であれば必ず成功すると 思います。十二月五日の公演では参加 者全員が二十世紀に生きた証として、一生の思い出としたいですね。

富士フィルが「第九」を演奏するのは五回目になります。富士で二回、御殿場で二回おこないました。これまで 富士フィルが中心となって演奏会の準備を進めてきましたが、今回はロゼの主催なので演奏に集中できます。

ベートーヴェンの「第九」はどなたも耳にする曲ですが、オーケストラにとって各楽器とも技術的に難しいこと、なにより高い集中力が求められる曲です。

十月には団員の合宿をおこないメンバーや丸となつて本番に臨みます。団員は富士・富士宮を中心に関内からも大勢参加しています。富士フィルの環境の良さに魅力があるみたいですね。

堤俊作さんの指揮するベートーヴェンは重厚でダイナミックで、レコードやCDでは聴けない演奏が楽しめると思います。

### 合唱に華を添えるソリストたち

- |                           |                       |                        |
|---------------------------|-----------------------|------------------------|
|                           |                       |                        |
| ソプラノ：萩原 明美さん<br>(富士市)     | アルト：佐野 糸代琴さん<br>(富士市) | バリトン：長谷川 寛さん<br>(富士宮市) |
| テノール：林 誠さん<br>ホルン：下田 太郎さん |                       |                        |

## 「第九の集い」

12月5日(日) 大ホール

開場 14:00 開演 14:30  
全席指定 一般 2,000円 学生 1,000円

【プログラム】

R.ワグナー：歌劇「ローエングリーン」より第1幕への前奏曲  
R.シュトラウス：ホルン協奏曲第1番  
L.v.ベートーヴェン：交響曲第9番ニ短調「合唱付」

## Beethoven Symphony Series



ショパンコンクールの覇者ブーニンが、新世紀に向けて新しいショパン像を奏でる、待望のロゼシアター公演！

## ショパン没後150年記念プログラム

# スタニスラフ・ブーニン ピアノリサイタル

ロゼシアターにとって2000年の幕開けにふさわしい公演

“スタニスラフ・ブーニン ピアノリサイタル”は来年3月10日大ホールで開催します。

演奏曲も決まり来演が待ち遠しいこの秋、ブーニンの魅力と演奏プログラムの聴きどころを探ってみました。

### プロフィール

日本においてブーニンの名が知られるようになったのは今から十四年前の一九八五年の年末であった。その年の十月に行われたショパン国際コンクールで優勝、僅か十九歳での快挙は十二月二十二日にNHKでその模様が放送され、音楽ファンはもとより一般の人々までテレビに釘付けにしてしまった。ブーニンの演奏は何より初々しく、哀しいまでにロマンティック、映像と音響技術の発達と相まってショパンの素晴らしい、ピアノ音楽の素晴らしさを聞き手と分かち合う奇跡をやつてのけたのである。

翌八六年の初来日公演の熱狂的な演奏会は社会現象となり、「ブーニン・シンドローム」なる言葉すらささやかれ出したほどだった。リリースされたCDはドイツでディスク大賞、日本でゴールドディスク賞を獲得するなど、これまで十枚以上発売されている。この人気は日本だけでなく、ヨーロッパでも同様で、ベルリン・フィルなど名門オーケストラとの共演も限りなく多い。

ブーニンは六六年にピアノの名門を家系にモスクワに生まれている。ピアノの申し子のような活躍ぶりは、まさにたどるべくしてたどった道のりであつたともいえよう。このようにブーニンは二十代の多感な青年期を華やかな脚光を浴び続けてきたが、今まで新たな第一歩を歩み出した。それは、一段と自身の内面を見

### プログラム

日本においてブーニンの名が知られるようになったのは今から十四年前の一九八五年の年末であった。その年の十月に行われたショパン国際コンクールで優勝、僅か十九歳での快挙は十二月二十二日にNHKでその模様が放送され、音楽ファンはもとより一般の人々までテレビに釘付けにしてしまった。ブーニンの演奏は何よりも初々しく、哀しいまでにロマンティック、映像と音響技術の発達と相まってショパンの素晴らしい、ピアノ音楽の素晴らしさを聞き手と分かち合う奇跡をやつてのけたのである。

翌八六年の初来日公演の熱狂的な演奏会は社会現象となり、「ブーニン・シンドローム」なる言葉すらささやかれ出したほどだった。リリースされたCDはドイツでディスク大賞、日本でゴールドディスク賞を獲得するなど、これまで十枚以上発売されている。この人気は日本だけでなく、ヨーロッパでも同様で、ベルリン・フィルなど名門オーケストラとの共演も限りなく多い。

#### ●「ソナタ 第二番 短調 作品五八

一八四一年の作。恋人ジョルジュ・サンドとの生活の中での愛細やかな頃の作品。作曲家リストによればサンドとの愛、喧嘩、仲直りなどが描かれているという。緻密で豊かな構成の曲で最後まで緊張感をもつて聴ける傑作である。

#### ●「ソナタ 第二番 短調 作品五九

一八三九年の作。この曲の第三樂章に有名な「葬送行進曲」が付いている。この曲は三七年に単独で作られていたが、

後になってそれを主題としてこのソナタ

第二番が作曲された。ショパンが失える

## スタニスラフ・ブーニン ピアノリサイタル

2000年3月10日(金)  
開場18:30 開演19:00

全席指定  
S席: 7,000円 A席: 5,000円  
(学生: 2,500円)

チケット発売日 11月28日(日)

※取材協力 内藤間喜

ドイツ・ケルン市在住

祖国ポーランドを哀悼する意図から創られたものとする見方もあり、直情的で抒情に満ち、そして独創性に富んだ傑作である。

#### ●「子守歌」変一長調 作品五七

一八四四年の作。子守歌はこの一曲しか書かれていない。当初変奏曲として作られたが後に改訂された。メロディーは非常にシンプルであるが、優しくて美しい。一般的に想像される子守歌とはニュアンスが異なり、人気曲の一つである。

#### ●「ソナタ 第三番 短調 作品五八

ソナタ第二番より五年遅れの一八四四年の作。ショパンのソナタは全部で三曲あるが、その頂点に立つ曲。全体として

規模が雄大となり、ショパンの天分であるひらめきが各所に發揮されている。作品

の中でもショパン特有の甘美な魅力も散りばめられている希有の大傑作である。



## あの瞬間の感動をもう一度…

1999・APR.~1999・SEP. 平成11年度前期自主事業を、それぞれの公演に寄せられたアンケートをもとにフラッシュバックしてみました。  
(WAKUWAKU通りや本誌中で扱った公演は割愛しております。) ※サインは出演アーティストからいただいたものです。



TRF  
"exicoast tour" 99

7月27日

*TRF  
exicoast tour  
July 99*

### VOICE

●SOLD OUT LIVE. オープニングから場内総立ち状態でステージにYUKIのシルエットが浮かぶ。KOOのスクランチにSAMのステップ、CHIHIRO、ETSUが登場、ツアー公演ならではのスーパーライブとなった。「WIRED」「Overnight Sensation」「EZ DO DANCE」数々のヒット曲が会場を盛り上げる。クラブ状態になったロゼの大ホールは熱い興奮に包まれ、鳴りやまぬ歓声は「BOY MEE TS GIRL」で最高潮を迎えた。



錦織 健  
テノールリサイタル

9月18日

*Ken Nishizaki*

### VOICE

●歌はもちろんですが、さすが「バラエティーテノール」トークがすてき。私は巨人ファンであるけれど…。  
(富士市女性 27才)

●どうして発声するのでしょうか。私も第九を練習していますが、まだ上手くなりません。  
(富士市主婦 50才)

●思いがけず伴奏の河原さんのピアノとトークが入り、楽しく聴きました。  
(富士市主婦 60才)

●おやじギャグも最高～！  
(富士市女子中学生)

## 俳人 上田五千石 回顧展 8月31日～9月8日



### VOICE

●郷土にすばらしい俳人がいる事を誇りに思った。  
(富士市男性 60才)

●一句作ってみたい気分になりました。  
(富士市女性 70才)

●五千石先生のあらゆるものと一緒に配された地方の者としてうれしかった。  
(京都市女性 50才)

●富士中央小学校の校歌をこんなすごい人が作ったなんて知ることができてよかったです。  
(富士中央小学校女子生徒)

レセプションホールでの富士中央小学校校歌披露▶



ロゼイヴィン  
美しきミューズ  
グコンサート  
たちとの出会い

川田知子  
7月7日

*99.7.7  
Ryeivin Ningyo  
Concert*

### VOICE

●わかりやすい曲が多く、とても楽しめました。技術がしっかりしていてさすがだと思いました。若々しい音がとてもさわやかでした。「シャンソン」は絶品でした。「スペイン舞曲」も踊っている人が見えるように迫力がありました。  
(富士市女性 30才)

●水のように清らかで深みのある演奏でたっぷりありました。今後のご活躍をお祈りいたします。川田さんのファンになりました。  
(富士市会社員 30才)

●七夕にふさわしい素晴らしいコンサートでした。明日からの忙しい毎日をがんばれそうです。  
(富士市会社員 30才)

千住真理子  
5月19日

*1999.5.19  
Mizuki Chiba*

### VOICE

●とても柔らかい音で心地よかった。また川田知子さんを呼んで下さい。彼女はきっと将来超一流のヴァイオリニストになるでしょう。  
(富士市男性 40才)

●念願かなって聴くことができ、幸せな時間でした。小ホールにピッタリ、とてもすばらしい演奏会でした。  
(富士市女性 50才)

●ただ曲を聴かせていただくだけではなく、わかりやすい解説やいろいろなお話を聞かせていただき有意義でした。今回のイヴニングコンサートが楽しみです。  
(富士市女性 30才)



小松亮太&  
ザ・タンギスツ

4月16日

*Kōzō & The Tangists  
April 16, 1999*

### VOICE

●涙が出そうになりました、興奮したりよかったです。  
(富士市OL 20才)

●今夜を楽しみにしていました。期待どおりでした。哀愁があるけれども力強いリズムとメロディーが身体の中にズンズン入ってきて、細胞の一つ一つが揺さぶられるような感じがしました。  
(富士市女性 30才)

●バンドネオンは初めて“生”を聴きました。ギレの良さとリズム感が楽しめました。コンチネンタルタンゴと違い、素朴な中に情熱があるという感じでした。それと哀愁かな…。  
(富士市主婦 40才)

松竹大歌舞伎  
十五代目  
片岡仁左衛門襲名披露

8月28日



### VOICE

●ロゼで仁左衛門さんが観られるなんて夢の様です。  
(富士市女性 20才)

●地元に居てこれだけの歌舞伎が観られる事の有りがたさに感謝します。  
(富士市女性 50才)

●期待していたとおりのすばらしい舞台でした。襲名披露にふさわしい熱演に感動。  
(三島市男性 60才)



*松竹大歌舞伎  
十五代目  
片岡仁左衛門襲名披露*

東京フィルハーモニー  
交響楽団  
指揮：大町陽一郎

5月22日



*平成十一年五月二十二日  
大町陽一郎  
東京市文化会館へ  
日本で最高の演奏出来て  
喜びます。*

### VOICE

●やっぱりプロはいいなと思った。がんばる勇気を与えてくれた。音大がんばります。  
(富士市女子高校生)

●28歳にして初めて生のオーケストラを聴きましたが本当に素晴らしいと思った。  
(山梨県男性)

●大学に行ったらオーケストラに入りたいです。  
(富士市男子高校生)

●私の好きなチェロがたくさんあってうれしかった。  
(富士市女子中学生)

劇団四季ミュージカル  
「コーラスライン」 6月6日

### VOICE

●待ちに待っていた富士公演です。これからもいっぱい富士に来て下さい。  
(富士市OL)

●素晴らしかった。カーテンコールがあっけなかったのが残念。  
(沼津市OL 20才)

●就職活動中の身で同じ様な境遇なのでいろいろ考えさせられました。明日は某社の2次審査です。  
(富士市女子大学生)

●1000~1500円でいいから学生席がほしい。  
(富士市女子中学生)



*ロゼイヴァー黄江  
ロゼイヴァー黄江  
ロゼイヴァー黄江*

東儀秀樹～from ASIA～

6月25日



*ROSE  
THEATRE  
Tominaga Hidetaka*

●前半はとても厳かな、神々しい感じで近寄りがたく、神様みたいだと思いました。後半は一転して近代音楽と雅楽が素晴らしい合った美しい曲が印象的でした。雅楽の樂器の天地・空を表すという説明を聞いて、ステージの空間の使い方や、奥の方からわきでるような深い音たちに、音楽って宇宙を表すのだと思って感動しました。あんまり美しい音で切なくなりました。  
(富士市女性 28才)

●平安の雅の世界をかいま見た様な気がします。日頃忙しい生活中で日本人である事すら考える余裕もない最近ですが、日本古来の文化に触れ、日本人の誇りを再認識致しました。  
(富士市女性 50才)



チェコ国立ブルノ歌劇場オペラ「カルメン」

6月15日

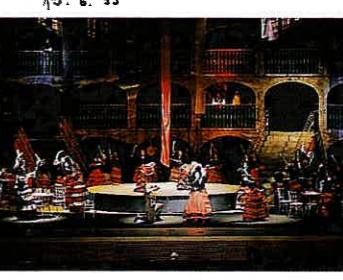
### VOICE

●ロビーに入って金管五重奏が雰囲気を盛り上げてくれてとてもよかったです。  
(富士市女性 40才)

●開演後に入場する者がいるが他人は迷惑。空席があるのは残念。出演者総勢210名、豪華迫力満点よかったです。  
(富士市男性 60才)

●公演はすばらしかったのですが、フラッシュ撮影をしていた人がいて大変残念でした。  
(富士市女性 40才)

*Richard Florida  
Escamillo  
La Traviata  
15.6.99  
K.C. 99*



*For amistad y  
carino para Fuji.  
Ernesto Grisales.  
Domingo, Carmen.  
15.6.99*



~~~~~ ウィーンの森に立つモーツアルト像 ~~~~

宮廷時代に愛されたサロン音楽“ハルモニー・ムジーク”が時代を越えて私たちの心を楽しませてくれる。

11月30日公演の「ウィーン木管八重奏団」の調べは、まさに20世紀伝来の響きであり、

聴く者を緑豊かなウィーンの森に誘ってくれる。

## Rose Hot Interview

二十世紀贊歌、市民合唱ベートーヴェン「第九の集い」（十一月五日公演）まであと一ヶ月あまり、いま本番のステージに向けて熱の入った練習が繰り返されています。

二〇〇〇年を迎える師走公演を控え、合唱指導にあたる福島章恭先生に仕上げに向けての練習方法や公演への意気込みを伺いました。

◎音楽との出会いは

「第九」がきつかけ

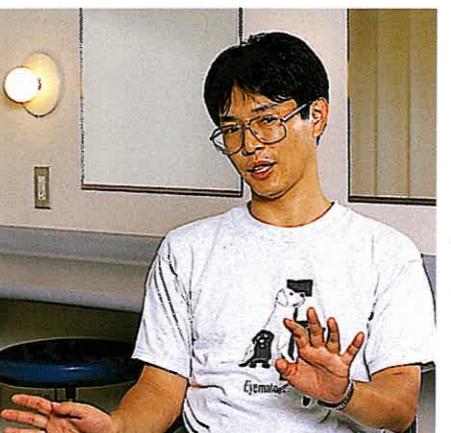
いま、日本でベートーヴェンの「第九」はどうもではやされている曲はないと言われています。私も実は、クラシック音楽との出会いは「第九」でした。小学六年生の時、音楽の先生から「第九」を聴かされ何て素晴らしい音楽なんだと感動、それからお小遣いを貯めてベートーヴェンの「運命」、「田園」などコードを買い集めたんです。こんなきつかけで、クラシック音楽に染まり出したんですが、中学、高校に進むにつれてビートルズを好きになり、一時中斷、大学進学の時に出会ったピアノの先生が私のピアノ演奏を聴き音大を勧めてくれました。そこで声楽科を目指すことが決まったのです。

大学を卒業して、発声法に悩んでいる時、東洋医学を声楽に取り入れている先輩から現在ここ（富士市）で皆さんに指導している東行法を教わることになりました。

個人として行うと失神するほどきびしい訓練なんですが、皆さんにはその入口を紹介しています。

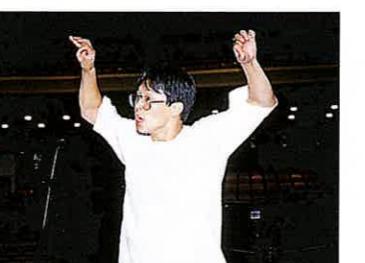
◎合唱の魅力はハーモニー、

# 将来へつながる公演にしたい 合唱の魅力はハーモニー



◎富士市の合唱に期待しています。

A black and white photograph of a man with dark hair and glasses, wearing a light-colored button-down shirt. He is gesturing with both arms raised and hands open, as if emphasizing a point or leading a performance. The background is dark and out of focus.



一般的に市民合唱団の将来を考えた場合、まず会場の確保が懸念されます。その点財団のバツクアップの厚いですね。

たいということ、本格的に合唱にのめり込んでいたわけです。

コーラスの魅力は一人では絶対作れない音楽、その中心はハーモニーにあると言えます。富士市に来て感じられるのは、地元の指導者の協力態勢が万全だということ、それと各先生方のフォローの仕方がスマーズで非常にやりやすい、いつも気持ちよくやらせてもらっています。またコーラスの声の質が皆さん明るいですね。

男性は人數が少ないですがヴォリューム的には及第点です。ただ、まだ本当の声を出し切っていません。フォルテなどの表現が単調になってしまっています。

島 章恭  
Shigeru Fukushima ● PROFILE

唱指導者・音楽評論家  
明治大学声楽科卒業。声楽を荻谷納、移川澄也、呼吸法を徳島弘、指導法を紙谷一衛、リコーダー（古楽）を守安功のに師事。  
音楽評論家として94年アリオン賞（現・柴田南雄音楽賞）、奨励賞を受賞。  
指導者として、町田市、多摩市、厚木市、新潟県長岡市の指団指導者。跡見学園女子大学合唱団ウォイストレーナー。著書に「クラシックCDの名盤」（文藝春秋、共著）等がある。



